

第 12 回 わらアートまつりについて ~今年のテーマは「if」~

米どころ新潟市西蒲区を舞台に、稲わらでつくった巨大なオブジェを展示するイベント「わらアートまつり」を開催します。今年のテーマは「if」。「もしもクマと相撲が取れたら…。」など、迫力あり、愛嬌ありの5体の動物たちが「もしもの世界」にあなたを誘います。そのほか、オープニングイベントでは、特産品の販売やわら細工の制作体験教室など、楽しいイベントが盛りだくさん!また、会場の上堰潟公園は、里山の麓に広がる緑豊かで広大な公園。作品の展示期間にはコスモスが咲き誇るほか、バーベキュー施設や足こぎカートが整備され、ハイキングやピクニックなど、一日ゆっくりと楽しむことができます。

稲わらの懐かしい手触りや香りを感じて、夏の終わりのひと時をのんびり過ごしてみませんか。



稲わらでつくった巨大なオブジェ「わらアート」

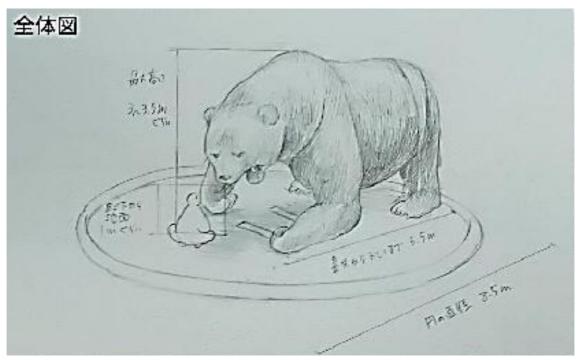
1. オープニングイベント 2019 年 8 月 25 日 (日) 午前 10 時から午後 4 時まで

2. 作品展示期間 2019年8月25日(日)~2019年10月31日(木)

3. 会場 上堰潟公園 (新潟県新潟市西蒲区松野尾 1)

■今年のテーマは「if」。「もしもの世界」にあなたを誘います…。

新潟を象徴する稲作農業の副産物である稲わら。わらアートまつりでは、西蒲区内で収穫された稲わらに命を吹き込み、迫力ある動物を5体制作・展示します。開催12回目の今年は、 π 0 「 π 1 「 π 1 」をテーマに、動物たちがもしもの設定で皆さんを楽しませてくれます。



制作予定作品「もしもクマと相撲が取れたら…」のデッサン

■制作を行うのは新潟市民と武蔵野美術大学(東京)の学生たち

作品は、武蔵野美術大学の学生 39 名が区内に 1 週間滞在しながら、新潟市民と協働で作り上げます。細部までこだわり抜いた作品が作れるのも、美大の学生ならでは。リアリティのある作品を作るために、稲わら以外にも竹や麦わら帽子など、様々な材料を使ってアイデアを出し合いながら完成させます。また、オープニングイベント当日 (8 月 25 日) は、学生たちが会場で作品解説員を務め、作品へのこだわりや制作秘話をお話しします。





制作を行う武蔵野美術大学の学生たち

■わらアート作品展示のほかにも、楽しいイベントが盛りだくさん!

会場では、地ビールや地元の名菓などの特産品を販売する「西蒲市場」や、過去に制作した作品の写真を木漏れ日の中で鑑賞できるギャラリー、わら細工の制作体験教室など、作品展示以外にも楽しいイベントが盛りだくさんです。



地元の特産品販売



さわやかな風が通り抜けるギャラリー

■会場の上堰潟公園は、里山の麓に広がる緑豊かで広大な公園

わらアートまつりの魅力は、そのロケーション。大自然の中で一日ゆっくりと楽しむことができます。



自然あふれる上堰潟公園

■問い合わせ先

新潟市西蒲区産業観光課観光交流·商工室

E-mail sangyo.nsk@city.niigata.lg.jp